

千葉県 美しいむらづくり総合整備事業「いずみ」地区（千葉市）

The out・line of the IZUMI integrated rural improvement project in the Chiba city

鹿間陸郎

Shikama Rikurou

1 地区概要

本地区は、千葉市若葉区の東部に位置し、地区の中を鹿島川が流れ、その流域や市流域を中心に水田が存在している。水田の周囲や道路沿いには集落が形成され、台地上には畑と森林が広がっている。

本地区は、千葉市中心部から車で 30 分程度の都市近郊型で、消費地に近いという好条件があり、平地と台地が混在し、昔ながらの美しい農村風景を残している。しかし近年、農業従事者の高齢化や担い手不足等により、遊休農地の発生等、農地や林地の荒廃や維持管理に関する課題が顕在化し、美しい景観を造り上げてきた都市近郊での農林業を営むことが難しくなっている。

一方、都市住民の自然志向が高まるなか、農地の有効利用を図るとともに、都市住民が農業や農村に対する理解と関心を深めながら、健康でゆとりある生活を送ることができるよう、鹿島川流域の農林地等の豊かな自然環境を活かし、市民農園や環境学習の場等の交流拠点を広域的に配置した整備を進め、地域の農業・農村の活性化を図ることを目的に、「いずみグリーンビレッジ構想」を本市市政運営の基本指針「千葉市新総合ビジョン ちば・ビジョン 21」に位置づけた。



2 地区の営農状況

農振農用地面積 8 6 8 ha (水田面積 3 5 4 ha、畑面積 5 1 4 ha)

農家戸数 7 5 2 戸 (うち専業農家 1 7 1 戸)

千葉市の水田面積の約半分を占める千葉市の重要な農業生産基地

- ・水田：8 カ所のライスセンターを中心に作業受委託が進む。
- ・畑：冬ニンジンを中心にサトイモ、ネギ、ハウレンソウ、ラッカセイ等の露地野菜の栽培が主体、その他施設園芸によるキュウリ、ラン・観葉植物等の花卉、クリ・ナシ等の果樹も栽培

3 美しいむらづくりに向けた基本方針

(1) 農村振興基本計画での位置づけ

先人たちが守り育ててきた斜面林や谷津田、台地の畑など、鹿島川流域を特徴づける谷津地形の豊かな自然環境や農村景観と共生しつつ、地域農業の振興や生活環境を向上させ、都市・農村の交流を進め、地域の活性化を図る。



4 事業構想・概要

本事業を活用し、地域住民が快適に散策できる身近な名所としての農村空間を創出するとともに、生物の生態観察や農業・農村についての学習の場も併せて創出する。また、集落農園を整備するとともに住民参加による施設整備をすることにより、都市と農村の交流を促進するとともに農業・農村に対する理解を深め、魅力ある農村づくりを進める。

(1) 総事業費 449百万円

(2) 事業内容

自然環境・生態系保全施設整備 富田拠点： ビオトープ、自然観察施設・水辺デッキ、屋外トイレ・東屋、遊歩道、林地造成

住民参加促進環境整備 富田拠点： 花畑整備、緑地整備
中田拠点： 野バラ園造成、周辺緑化

地域農業活動拠点施設整備 富田拠点： 施設本体（研修室、農産加工室、事務室）、駐車場・休憩施設

集落農園整備 中田拠点： 第1農園、第2農園、駐車場、進入路、管理棟

5 地域の取り組み方針

地域内自治会の代表者を構成メンバーとした『いずみグリーンビレッジ推進会議』及び公募市民による部会を組織し、地域農業の活性化、農産物のブランド化、自然環境保全について、地域住民の主体性、自主性を高めながら、各種活動の展開を推進していく。

